













[illegible]



大日本主義

の禁ずべし。ざるものあり。今日の世變、大活劇は、抑も何の日に其終局を告げむとす。か。而して此戦争の結果は、世界の國際政局、如何なる變化を與ふべきか。列國勢力の消長、如何なる變化を與ふべきか。列國均衡に影を及ぼし、我帝國は到底之が利害關係を避けんし欲するも能はざる境遇に居るを思は、現在の歐洲動亂は決して對岸の火災に非ずして、之に備ふるの計策は豫め確定する所なくんばある可らず。平和は何人も望む所なれども、國家に發展膨脹的慾望の存す一以上は、利害の衝突は免れ難く、戦争も亦已むを得ざることあり。戦争は一大浪費にして、國家の經濟的活動は之が爲めに存せずと雖も、大膽自由なる發言は、權力なくして權威を有し能はざる也。若し國家が列強の間に伍して其存立を確保し、更に進んで其發展を期せしむれば、少くとも軍國主義は必要なる政策の一たり。然れども吾人は此主義を以て、彼の本能の暴力的發揮、國際道德の蹂躪、條約の破棄と云ふ如き蠻行の武器たらしめんとするに非ず。吾人は世界平和の攪亂者に非ざれば也。但だ平和は勢力に依て維持せられ、國威は勢力に依て保持し得べきが故に、富國強兵は帝國の存立上牢固動かす可らざる鐵則たり。歐洲の戰亂戡まりて國際政局に變化を來すの時我帝國の立場は恐らく今日と狀態を異にするものあらむ。吾人は如何なる時と雖も旅鳥たるの用意を遣る可らず。若し他と提携するの必要あらば、實質的に同等の立場に於て之を爲すべし。帝國が常に東洋の覇者たらんとせば、其れだけの權力を備へざる可らず。國力を充實して民力を統一し、平時に於ても緩急に處するの準備を整へ、國家經營の大目的を決定して之に向つて邁進し、文事あり武備あり、以て大日本主義の貫徹に努力せずして可ならむや。吾人は此機會に於て最も舉國一致の必要を叫ばざるを得ざる也。

舉國一致の眞精神

舉國一致

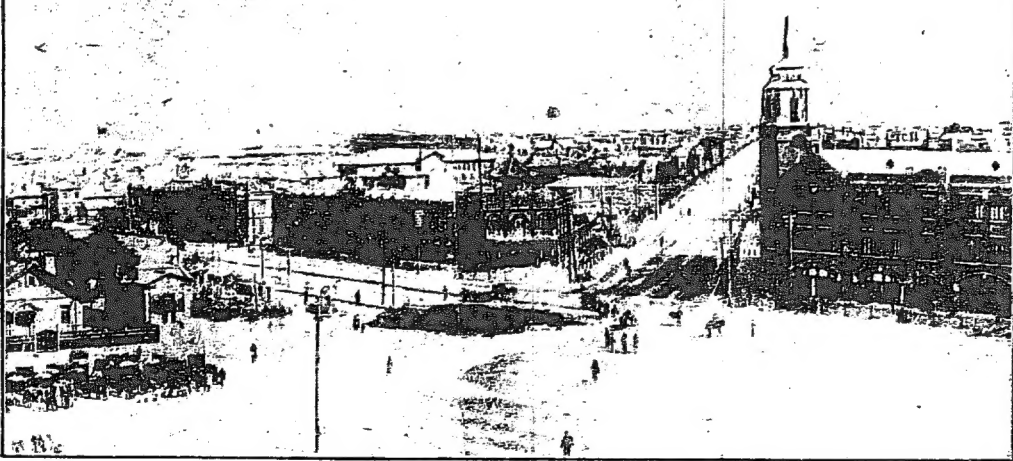
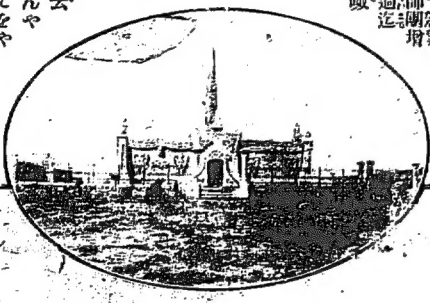
我輩の空かに遺憾に堪へないてゐる事は軍國主義に對する世人の誤解である世人動もすれば軍國主義を武斷政治と混同してゐる限れるも甚だしきことである軍國主義は決して武斷政治そのものでない我輩の誤解に

事の智識

現に我が帝國の武備は名實共に世界の一等國である我々實力の程度は余世界中最よく充分に之に及んで得るものはないと斷言しても慍らない處で與へる事に心を配つてゐる三月十日

吾人の用意

比較的智識階級にしても然り、他は概ね推して知るべしで今や軍事智識の缺乏は日本國民の通弊と化し去らう之としてゐる然も由れをしも成るが儘に放棄し置かぬがゆゑに大事がこたひ宛へに掛へて結果となるであらう我輩は常に之を思ひ之を憂ひて機會ある毎に一般國民に軍事智識を興へる事に心を配つてゐる三月十日



◆◆ 音 福 大 の

界ル一ト

謹告

四方各位益々御多祥の段奉慶賀候。  
 扱本年はサツボロアサヒ、エビス三會社合同後滿十週年に相當致し來る三月廿六日を以て光榮ある記念の日を迎へ可申候此間當社製品の販路は年と共に擴大致し社務日増に隆昌に向候段一に各位御同情的の賜と雖有御禮申上候就ては此際興味ある景品付賣出舉行仕り祝賀旁々些か平素の御眷顧に相酬度候間何卒益々御愛顧御引立之程伏て奉願上候。

大日本麥酒株式會社  
東京出張所

景品目錄

一等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
二等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
三等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
四等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
五等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
六等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
七等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
八等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
九等	勸業債券	五枚	額面拾圓	拾本	金八百圓
合計	壹萬七千點	額面六千六百十二圓六十錢			

□ 空 籤 壹 本 も しな □

▲景品付區域……朝鮮全道及安東縣

▲景品付箱數……壹萬七千箱限り

▲景品付期間……大正五年三月十日迄同年五月卅一日迄

但し期間中、雖も賣出箱數に到達したるときは、切とす

▲**抽籤券** サツホロビール券は丁サビビール大抽

匹打入又は小瓶八打入一箱御買求めの方に景品抽籤券

▲抽籤方法……来る七月一日午前十時より京城商業會

議所に於て京仁當社特約店主並に京城日報朝鮮新聞記者

各一名立會を乞ひ最も公明正大なる方法に依り之れを執

行す



て前年と比較するに多額納税者  
大平通二丁目  
發行所 京城日新報  
印刷人 釜口政太郎



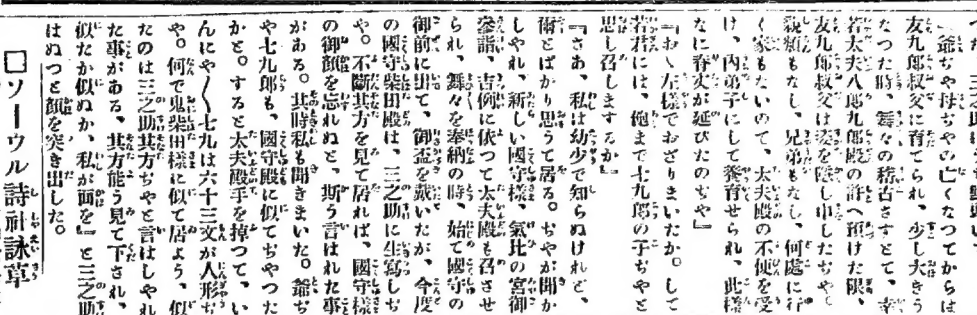




舊

佐野六郎が遺児、幼少の御奥に仕へ、佐野と稱は

で忘れたものを、若君には何御猶憶  
遊ばします。左様なれば伺ひます。ス  
七九郎夫婦の世に亡きよしは、御物  
語で承知致いた。其後は何處の誰、  
如何なる人に育まれて、左様に倒  
身大きくなられましたか。先づそれ仰  
しやませ。凝つて其方に詰め寄



平壤大和町

桑田支店

電話一六三番

祝三千號記念

平壤八千代町

西嶋新藏

祝三千號

京 城 南 大 門 通

雜 貨

玉 植 商 店 京 城 支 店

電 話 二 五 二 番

祝三升記念  
 會席 松葉亭  
 御料理  
 電話二三三番  
 謝近火御見舞  
 京城本町一丁目  
 鳥崎孝彦

三月十一日ヨリ實施  
預金利息改定  
株式會社 長崎貯蓄銀行  
代理店  
十八銀行 東京支店  
同 龍山出張所

夢はてゝ歸家は床は冷たかり哀愁  
 ひし／＼胸に迫れり。  
 そとゆきて又そこかへる『かなし  
 み』に唇嚙み辯となりしこの頃。  
 枯木林夕づ／＼頃を小鳥きて何啼く  
 心いまいたなり。  
 濃浪の男なるべし青樓街の雪降る  
 夜を黙し歩めり。

坂崎青丘

吉岡富士庄

# 質

京成黄金町二丁目  
(永楽町停留所北入)  
堀佐營業所  
(電話六三九番)

## 複方痼癩湯

せんきせんき  
腰痛の良藥



登錄商標

定價六錢 十八錢 四十錢  
大市西區新町三丁目  
本舖田知本和三郎

大阪市東區北濱一丁目  
大學目藥本舖  
合資  
會社

新報版吉

男爵 森村市奮  
醫學博士 田安  
文學博士 豐速宅  
文學博士 雄次郎  
文學博士 弘之  
釋宗 碧巖錄

天竺

廣大ナルヲ義望  
大學目藥ノ登録  
店ノ製藥ヲ發賣  
然ノ手續ニ及バ  
至リ候處貴殿ノ  
ヲ蒙リ今更汗顏  
謹デ謝罪仕候也

岡山縣郡窪郡庄  
大正五年貳月廿五日

祝三千號



拙者儀貴店製大  
謝罪

號三祝

呈送録目

● 完全無比の「覇王」グ  
● 實用新法

● 諸官品銀行會社其他團體  
● 數理購買の向へは特に割

● 實用新法

● 諸官品銀行會社其他團體  
● 數理購買の向へは特に割

[illegible][illegible]

奧様のお悦び  
の鶴によりて得らる  
合物の絶無  
格の低匪  
の良酒又浮の鶴に候

光日  
特佐  
喜約  
米店  
壽商  
店  
一町二丁目  
九番  
基本

汽船釜山出帆廣告

正神丸 大坂行 三月廿一日後五時出帆  
立神丸 浦添行 三月廿一日後十時出帆  
小門司 神戸・大阪行 三月十七日午後五時出帆  
○元山城津浦線行

タイプ版寫眞  
紙捲パイプ  
印刷所  
電話 四二七五  
口座 二一八七  
京坂 一四四二  
一四六三  
七六三番

ト台社製  
ト先付  
最新インキ止式

電話(四四五番) 銀座定城二五六番

釘  
本  
藤次郎本店

*[The page contains several horizontal bands of heavy black redaction marks.]*

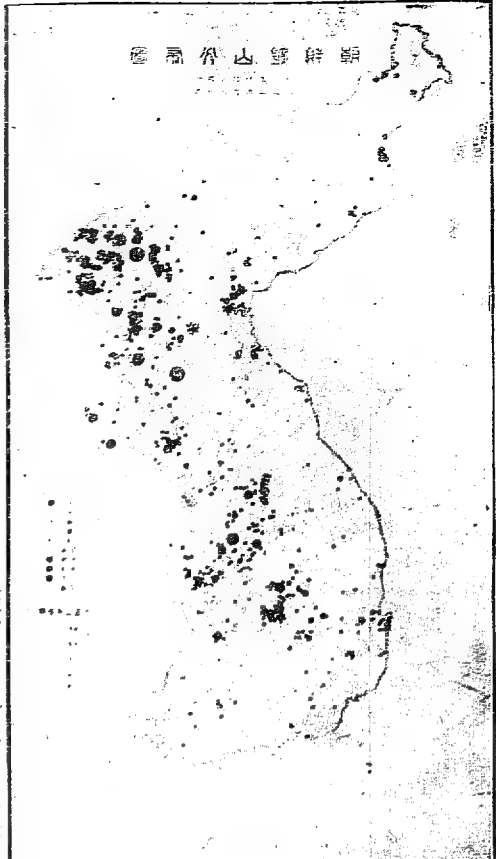












### 紅十字會事業に就て

平井三男氏談

紅十字會は古來東洋第一の神聖なる慈善事業として、人類の生命を救済するの使命を負つて、世界に於いて最も盛んな事業の一つとなつてゐる。日本に於いては、明治十三年(一八八〇年)に、紅十字會の日本支部が設立されて、以來、この事業は益々擴大して、今日に至るまで、我が國の救済事業に、最も重要な役割を演じてゐる。紅十字會の事業は、大體二つに分けられる。一つは、災害救助事業、もう一つは、救済事業である。災害救助事業は、地震、洪水、火災、飢饉、疫病などの災害が発生した際に、被災者を救済するために、物資、金銭、医療などの援助を行う事業である。救済事業は、貧民、病者、老人、婦人、小兒などの救済のために、衣食住、医療、教育などの援助を行う事業である。紅十字會の事業は、人類の生命を救済するの使命を負つてゐる。日本に於いては、明治十三年(一八八〇年)に、紅十字會の日本支部が設立されて、以來、この事業は益々擴大して、今日に至るまで、我が國の救済事業に、最も重要な役割を演じてゐる。

### 紅十字會の由來

紅十字會は古來東洋第一の神聖なる慈善事業として、人類の生命を救済するの使命を負つて、世界に於いて最も盛んな事業の一つとなつてゐる。日本に於いては、明治十三年(一八八〇年)に、紅十字會の日本支部が設立されて、以來、この事業は益々擴大して、今日に至るまで、我が國の救済事業に、最も重要な役割を演じてゐる。紅十字會の事業は、大體二つに分けられる。一つは、災害救助事業、もう一つは、救済事業である。災害救助事業は、地震、洪水、火災、飢饉、疫病などの災害が発生した際に、被災者を救済するために、物資、金銭、医療などの援助を行う事業である。救済事業は、貧民、病者、老人、婦人、小兒などの救済のために、衣食住、医療、教育などの援助を行う事業である。紅十字會の事業は、人類の生命を救済するの使命を負つてゐる。日本に於いては、明治十三年(一八八〇年)に、紅十字會の日本支部が設立されて、以來、この事業は益々擴大して、今日に至るまで、我が國の救済事業に、最も重要な役割を演じてゐる。

### 紅十字會の事業

紅十字會の事業は、大體二つに分けられる。一つは、災害救助事業、もう一つは、救済事業である。災害救助事業は、地震、洪水、火災、飢饉、疫病などの災害が発生した際に、被災者を救済するために、物資、金銭、医療などの援助を行う事業である。救済事業は、貧民、病者、老人、婦人、小兒などの救済のために、衣食住、医療、教育などの援助を行う事業である。紅十字會の事業は、人類の生命を救済するの使命を負つてゐる。日本に於いては、明治十三年(一八八〇年)に、紅十字會の日本支部が設立されて、以來、この事業は益々擴大して、今日に至るまで、我が國の救済事業に、最も重要な役割を演じてゐる。

### 紅十字會の組織

紅十字會の組織は、大體二つに分けられる。一つは、災害救助事業、もう一つは、救済事業である。災害救助事業は、地震、洪水、火災、飢饉、疫病などの災害が発生した際に、被災者を救済するために、物資、金銭、医療などの援助を行う事業である。救済事業は、貧民、病者、老人、婦人、小兒などの救済のために、衣食住、医療、教育などの援助を行う事業である。紅十字會の組織は、人類の生命を救済するの使命を負つてゐる。日本に於いては、明治十三年(一八八〇年)に、紅十字會の日本支部が設立されて、以來、この事業は益々擴大して、今日に至るまで、我が國の救済事業に、最も重要な役割を演じてゐる。

### 紅十字會の活動

紅十字會の活動は、大體二つに分けられる。一つは、災害救助事業、もう一つは、救済事業である。災害救助事業は、地震、洪水、火災、飢饉、疫病などの災害が発生した際に、被災者を救済するために、物資、金銭、医療などの援助を行う事業である。救済事業は、貧民、病者、老人、婦人、小兒などの救済のために、衣食住、医療、教育などの援助を行う事業である。紅十字會の活動は、人類の生命を救済するの使命を負つてゐる。日本に於いては、明治十三年(一八八〇年)に、紅十字會の日本支部が設立されて、以來、この事業は益々擴大して、今日に至るまで、我が國の救済事業に、最も重要な役割を演じてゐる。

**祝三千號記念**  
京城府漢江通  
三巴商會支店  
電話五六四番

**祝三千號記念**  
京城府本町郵便局前  
岩田北陸堂  
電話二四八七番

**祝三千號記念**  
京城府元町  
藤田安之進  
電話五五一番  
外組員一同

**祝三千號記念**  
京城府本町四丁目  
唐川吳服店  
電話二六〇番

**祝三千號記念**  
京城府新龍山三角地  
龍山むしぶる  
電話二四四番

**祝三千號記念**  
京城府池坊生花  
家元盛花教授  
京畿道目代職 今井秀甫  
京城府江通三丁目

## 土木建築請負

龍山漢江通	間組出張所	電話四四〇番
龍山榮町	堀内組出張所	電話三一五番
同	龜割組	電話一四〇番
京城旭町三丁目	鹿島組出張所	電話三九六番
京城南大門通	谷口組	電話九六〇番
龍山漢江通	久米組出張所	電話六三四番
同	松本組支店	電話一五二番
同	松尾重信營業所	電話四五六番
京城吉野町	前田組	電話一五九番
龍山榮町	小林組	電話一二番
龍山漢江通	荒井組	電話二〇二番
京城旭町一丁目	阿川組	電話一二八番
龍山漢江通	有馬組	電話三一七番
京城日ノ出町	志岐組事務所	電話三〇五番
京城古市町	白川組出張所	電話二四八番
龍山漢江通	菱川組出張所	電話三二六番
京城花園町	盛陽社	電話一七六七番
京城旭町三丁目	菅原工務所	電話一六八九番

**工友俱樂部**  
京城長谷川町八十四番地  
電話二四六七番



**消防用唧筒は**  
**佐藤式に**  
**限る**



適用輕快なる事實  
 特許新機式  
 ポンプ

**蒸氣ポンプの特色**  
 佐藤式によりて發動す  
 ●詳細なる説明書に御申渡次第望  
 ます

附險保年ヶ拾



所工鐵藤佐  
日本大阪府大阪市西區南船場一丁目三番六號

---

# 花やしき

**各種**

味美  
**煎豆類一式**

磯みどり  
 錦せんべい  
 大坂市所區越後町二丁目  
 創業明治十八年四月一日

**開春軒本店**  
 振替大阪三一九〇番記長七一七〇  
 仁川仲町二丁目

**開春軒支店**  
 電話三百十番



# 歌謡諸發表

## 第二回 秀逸六十四篇

○ 山田 秀逸  
第一回 秀逸六十四篇  
第二回 秀逸六十四篇  
第三回 秀逸六十四篇  
第四回 秀逸六十四篇  
第五回 秀逸六十四篇  
第六回 秀逸六十四篇  
第七回 秀逸六十四篇  
第八回 秀逸六十四篇  
第九回 秀逸六十四篇  
第十回 秀逸六十四篇  
第十一回 秀逸六十四篇  
第十二回 秀逸六十四篇  
第十三回 秀逸六十四篇  
第十四回 秀逸六十四篇  
第十五回 秀逸六十四篇  
第十六回 秀逸六十四篇  
第十七回 秀逸六十四篇  
第十八回 秀逸六十四篇  
第十九回 秀逸六十四篇  
第二十回 秀逸六十四篇  
第二十一回 秀逸六十四篇  
第二十二回 秀逸六十四篇  
第二十三回 秀逸六十四篇  
第二十四回 秀逸六十四篇  
第二十五回 秀逸六十四篇  
第二十六回 秀逸六十四篇  
第二十七回 秀逸六十四篇  
第二十八回 秀逸六十四篇  
第二十九回 秀逸六十四篇  
第三十回 秀逸六十四篇  
第三十一回 秀逸六十四篇  
第三十二回 秀逸六十四篇  
第三十三回 秀逸六十四篇  
第三十四回 秀逸六十四篇  
第三十五回 秀逸六十四篇  
第三十六回 秀逸六十四篇  
第三十七回 秀逸六十四篇  
第三十八回 秀逸六十四篇  
第三十九回 秀逸六十四篇  
第四十回 秀逸六十四篇  
第四十一回 秀逸六十四篇  
第四十二回 秀逸六十四篇  
第四十三回 秀逸六十四篇  
第四十四回 秀逸六十四篇  
第四十五回 秀逸六十四篇  
第四十六回 秀逸六十四篇  
第四十七回 秀逸六十四篇  
第四十八回 秀逸六十四篇  
第四十九回 秀逸六十四篇  
第五十回 秀逸六十四篇  
第五十一回 秀逸六十四篇  
第五十二回 秀逸六十四篇  
第五十三回 秀逸六十四篇  
第五十四回 秀逸六十四篇  
第五十五回 秀逸六十四篇  
第五十六回 秀逸六十四篇  
第五十七回 秀逸六十四篇  
第五十八回 秀逸六十四篇  
第五十九回 秀逸六十四篇  
第六十回 秀逸六十四篇  
第六十一回 秀逸六十四篇  
第六十二回 秀逸六十四篇  
第六十三回 秀逸六十四篇  
第六十四回 秀逸六十四篇

大君の御稜威輝く八道の地圖を眺めて、こゝかしこ胸に覺ゆる此處で進むは愉快ぢやないか

急温千里、飛沫浴び、流す後、飛ぶ、棹把る腕、高麗滿洲開く架橋が、十文字、

海を隔た他國ぢや連も辛抱仕上りや樂天地、眞に愉快ぢやないかい

紺を裂く雄な一聲のこし月の氷上極が行く、牛は丸々田は青々、沖に鯨が潮を吹く、胸に未來の大望秘めて今はオンドルひら枕

高麗の禿山、滿洲の荒野、春衣著せまぜう、青々さくら花さく、日本にうまれ、猛虎伏す野に埋める骨

南滿洲の高麗、馬が嘶きや日が昇る、作てござれ、滿洲の果に榮へば月もさす、主と二人が手をとりて、行くさき滿蒙平原地、開拓するも國のため、世帯持たうぢやないかい

大和島根にさし出でし日は朝鮮に滿洲に、照るや蒙古の山々に、植ゑよ千もこの山櫻、見やしやんせ、あの禿山に、木を植ゑ、廣い野原に、鉄入れて、秋の牡鹿の啼く頃、や、高麗の港は水の山

又御愛用紳士各位、此の主張に對し同意を表するに躊躇せざるべし

蓋キリンビールは品質本位なればなり

精殊なる原料巧妙なる釀造清潔なる壘詰法は其に遺憾なく其の本能を發揮せり

是れ紳士各位の御愛用益々盛なる所以なり

キリンビール發賣元 京城本町二丁目

明治屋 京城支店 電話長二二三番

祝三號千記念

花 蓮 業

早島物産商會 電話二三八八番

祝三號千記念

蛇目鑛業所 同分析所

本部 京城南米倉町 電話長九三〇番 三八〇八番

所主 蛇目萬次郎

支部 元山旭町十六番地 電話三三八番

祝三號千記念

京城支店

内國通運株式會社 電話 七〇八番 二七五番



# 祝三千號記念

和漢洋藥品  
工業用藥品  
有名諸藥  
京都本町二丁目  
荒木藥房  
電話一〇六八番

各種印刷製本  
名刺及印章類  
龍山漢江通入番地  
井上商店  
電話五三三番

和洋洋藥種  
工業用藥品  
有名諸藥  
京都府元町二丁目  
松下健

龍山元町小學校正門前  
延運町エム寫眞館  
電話六二五番

於共進會褒狀受領  
酒類  
京都府元町二丁目  
島山酒造場  
電話一五四番

京都府元町二丁目  
京都府元町二丁目  
京都府元町二丁目  
京都府元町二丁目  
京都府元町二丁目  
京都府元町二丁目  
京都府元町二丁目  
京都府元町二丁目

仁川京町  
村上菓子舖  
電話五三三番

仁川仲町二丁目  
原金旅館  
電話三三番

京都府元町二丁目  
履物商  
勉強屋  
電話四四四番

仁川新町  
足野田紙商店  
電話四四四番

慶北義城  
官公吏

宮内省御用酒  
菊正宗  
近江屋酒店  
大邸東本町電話三五六番

慶北義城  
三反崎商店

慶北義城  
島屋旅館  
自働車停留所

慶北義城  
原田醫院

慶北義城  
岡部商店

慶北義城  
湯淺吾市  
井川芳松

慶北義城  
岡部旅館

慶北義城  
配川旅館

慶北義城  
配川旅館

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一五五二番  
成

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話二〇九一番  
家

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
住

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

會料理 席  
京都旭町一丁目  
電話一三三九番  
馬場商店

祝三千號記念  
小川勝平事務所  
京都本町二丁目  
電話四一五番

祝三千號記念  
武藤商店  
京都府元町二丁目  
電話一六四番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番

祝三千號記念  
大橋組  
長電話一三八番







# 祝三千號記念

祝三千號記念

京城

中村 再 造

祝三千號記念

京城古市町

工事部 堀 内 商 店  
材料部  
電話一六九番

祝三千號記念

龍山質屋組合

祝三千號記念

京城府岡崎町

材木商 清水 製材所  
御注文次第迅速に製材仕度間多少共御用命願上候

△本品  
は朝鮮總督府衛生課所管人等を経て、衛生部省の許可の下に日本國地方  
の各府縣に於て、衛生部省の許可を得て、製造せられたるものである。

△高麗人三越幾斯

△參精  
は朝鮮總督府衛生課所管人等を経て、衛生部省の許可の下に日本國地方  
の各府縣に於て、衛生部省の許可を得て、製造せられたるものである。

朝鮮總督府法定消毒劑

無害 無毒  
**ゼルアイ**

猩紅熱其他傳染病豫防新藥

宣 部 品 藥 上 井  
七五一一・八話電・路道

祝三千號記念

釜山本町二丁目

迫間 本店  
長電話三三五番

祝三千號記念

釜山漁港内

香椎 事務所  
電話五四一六

祝三千號記念

釜山府辨天町

大池 本店  
電話一四二一九番  
八二六四番

祝三千號記念

東萊温泉場

蓬 萊 館  
電話東萊五番

## 祝三千號記念

## 祝三千號記念

京城旭町一丁目

建築業 山本鑑之進

京城出張所

電話一九三六番

△良品は經濟なり

△我社の製革は強靱にして舶來品を凌ぐ

朝鮮永登浦

朝鮮皮革株式會社

京城南大門通一丁目

朝鮮皮革株式會社出張所

電話一〇八二番

△我社の製革は堅牢にして耐久力に富む  
△而して其價格は頗る低廉なり